

児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果から明らかになった現状

#### 令和 4 年度の自校の取組の成果と課題

区分	成果と課題
① 暴力行為の状況等	23 件のうち、生徒間暴力が 20 件、器物損壊が 3 件であった。いずれもすいずれもすみやかにに指導し、家庭との連携が取れている状況にある。
② いじめの状況等	いじめを認知した 37 件のうちすべてにおいて、いじめ対策委員会を経て、複数名による対応・確認を行った。3 件については、継続的に対応を続けたものの、引き続き次年度への対応継続となっている。
③小・中・義務教育学校における不登校の状況等	電話や訪問を粘り強く続け、改善している家庭もある。一方で小学校時からの深刻な不登校や、校区変更でリフレッシュを図るものの改善できないなど、家庭へのアウトリーチが全くできない状況があり、行政機関と連携しながら取り組んでいる。